

THEO グロース・ファンド (世界の株式中心)

運用報告書 (全体版)

第2期 (決算日 2019年1月31日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、「THEO グロース・ファンド (世界の株式中心)」は、2019年1月31日に第2期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。(設定日：平成29年3月1日)	
運用方針	「THEO グロース・ファンド (世界の株式中心)」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心)」の運用方針です。 ①主として世界の投資信託証券 (ETF) に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) 受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券 (ETF) を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①投資信託証券 (ETF) への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

(受付時間：委託会社の営業日の9:30～17:00)

ホームページ：<https://www.money-design.com/>

 お金のデザイン

東京都港区赤坂1丁目9番13号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		投資信託 組入比率	純資産額
		税金 分	み 期騰落		
(設定日)	円	円	%	%	百万円
2017年3月1日	10,000	—	—	—	1
1期(2018年1月31日)	11,336	0	13.4	99.9	65
2期(2019年1月31日)	10,318	0	△ 9.0	105.4	168

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		投資信託 組入比率	託 券 率 %
		騰	落		
(期首) 2018年1月31日	円 11,336	% —	% 99.9		% 99.9
2月末	10,863	△ 4.2	100.0		100.0
3月末	10,505	△ 7.3	99.9		99.9
4月末	10,907	△ 3.8	100.1		100.1
5月末	10,892	△ 3.9	99.3		99.3
6月末	10,908	△ 3.8	96.6		96.6
7月末	11,279	△ 0.5	97.2		97.2
8月末	11,295	△ 0.4	113.3		113.3
9月末	11,539	1.8	99.9		99.9
10月末	10,446	△ 7.9	100.1		100.1
11月末	10,755	△ 5.1	100.2		100.2
12月末	9,793	△ 13.6	100.2		100.2
(期末) 2019年1月31日	10,318	△ 9.0	105.4		105.4

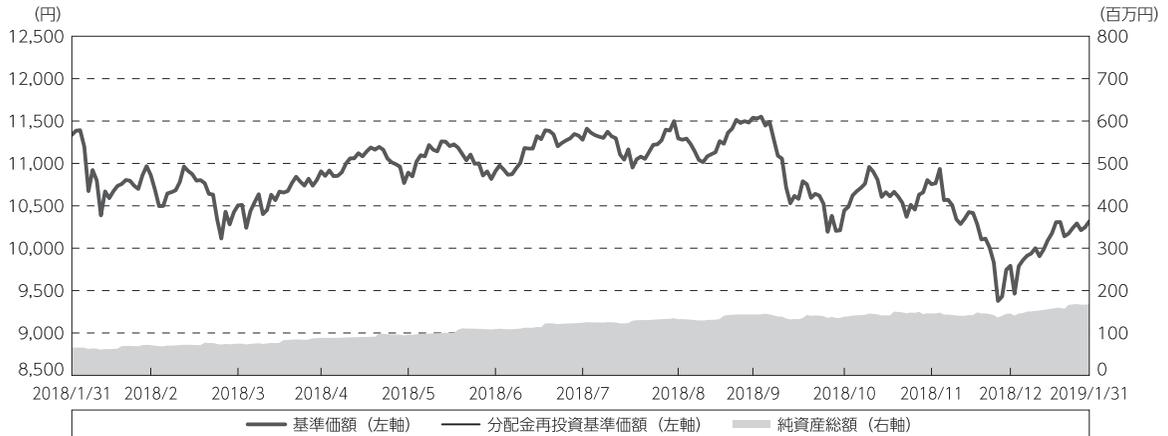
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2018年2月1日～2019年1月31日)

期中の基準価額等の推移



期首：11,336円

期末：10,318円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 9.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2018年1月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、9.0%下落しました。

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当期においては、秋期に起こった世界的な株式市場の下落により、ブラジル株と夏期にポジションを閉じた米国大型グロース株を例外としてほぼすべてのETFにおいてパフォーマンスがマイナスになりました。当ファンドは、為替ヘッジを行っていないため為替相場の変動が基準価額に反映されます。為替相場は円安米ドル高となったため、当ファンドの基準価額に若干プラスに寄与しました。

投資環境

世界の株式市場の指数であるMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、7.8%の下落となりました。一方、米ドル円レートは0.2%の円安となりました。

世界株式市場は米国株式市場に大きく追随しましたが、米国株式市場は主に以下二点の影響を受けました。一点目は米国と諸外国の間の貿易摩擦であり、これは2018年2月に始まり年間を通して再発しました。特に影響が大きかった米中間の摩擦に加え、当期前半においては米国と欧州、カナダ、メキシコとの間にも貿易摩擦がありました。二点目は米国中央銀行制度（FED）が市場予想を超えるペースで利上げをし、今後の見通しについても予想より早いペースの金利上昇を示唆したことです。これら二つの影響により株式市場は2018年2月に急激に売られ、米国株が過大評価されていると考えられた2018年10月と12月にも再び下落しました。

加えて欧州株式市場はドイツの低成長やイギリスの欧州連合離脱（Brexit）に対する不透明感、イタリアの予算に対する不信により圧迫され、また新興国株式市場は夏にかけてトルコの通貨危機やアルゼンチンの債務危機、インドにおける短期間の金融危機、中国経済の減速に悩まされました。

しかし2019年1月にはFEDが比較的ハト派のスタンスをとったため株式市場は強く反発しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の株式へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の企業の成長性を享受し、投資信託財産を成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第 2 期
	2018年2月1日～ 2019年1月31日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	961

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券への投資を通じ、低リスク・バリュウ・モメンタムといったスマートベータの概念に基づくアルゴリズムを用いて主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の企業の成長性を享受することを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年 2 月 1 日～2019年 1 月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 47 (38) (6) (3)	% 0.432 (0.351) (0.054) (0.027)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	18 (18)	0.167 (0.167)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.004 (0.004)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	13 (11) (2)	0.122 (0.105) (0.017)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	78	0.725	
期中の平均基準価額は、10,876円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年2月1日～2019年1月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）		114,987	124,859	11,009	11,968

○利害関係人との取引状況等

(2018年2月1日～2019年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年2月1日～2019年1月31日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年2月1日～2019年1月31日)

当期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 1	百万円 —	百万円 1	百万円 —	投資信託の当初設定時に取得したものを全売却

○組入資産の明細

(2019年1月31日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）	千口 57,190	千口 161,168	千円 168,002

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）	千円 168,002	% 99.4
コール・ローン等、その他	979	0.6
投資信託財産総額	168,981	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）において、当期末における外貨建純資産（785,368千円）の投資信託財産総額（897,815千円）に対する比率は87.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.96円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	168,981,863
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）（評価額）	168,002,072
未収入金	979,791
(B) 負債	961,481
未払解約金	577,791
未払信託報酬	306,992
その他未払費用	76,698
(C) 純資産総額（A－B）	168,020,382
元本	162,847,872
次期繰越損益金	5,172,510
(D) 受益権総口数	162,847,872口
1万口当たり基準価額（C／D）	10,318円

(注) 当ファンドの期首元本額は57,461,436円、期中追加設定元本額は118,468,321円、期中一部解約元本額は13,081,885円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.0318円です。

○損益の状況（2018年2月1日～2019年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 9,597,037
売買益	526,909
売買損	△10,123,946
(B) 信託報酬等	△ 620,161
(C) 当期損益金（A＋B）	△10,217,198
(D) 前期繰越損益金	4,187,602
(E) 追加信託差損益金	11,202,106
（配当等相当額）	（ 9,349,484）
（売買損益相当額）	（ 1,852,622）
(F) 計（C＋D＋E）	5,172,510
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金（F＋G）	5,172,510
追加信託差損益金	11,202,106
（配当等相当額）	（ 9,587,095）
（売買損益相当額）	（ 1,615,011）
分配準備積立金	6,066,760
繰越損益金	△12,096,356

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（1,879,158円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（9,587,095円）および分配準備積立金（4,187,602円）より分配対象収益は15,653,855円（1万口当たり961円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO グロース・マザーファンド （世界の株式中心）

運用報告書

第2期（決算日 2019年1月31日）
（2018年2月1日～2019年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：平成29年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証券 組 入 比	純 資 産 総 額
		騰 落	率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2017年3月1日	10,000		—	—	1
1期(2018年1月31日)	11,390		13.9	99.9	65
2期(2019年1月31日)	10,424	△	8.5	105.4	707

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証券 組 入 比
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2018年1月31日	11,390		—	99.9
2月末	10,919	△	4.1	100.0
3月末	10,564	△	7.3	99.8
4月末	10,972	△	3.7	100.0
5月末	10,963	△	3.7	99.2
6月末	10,984	△	3.6	96.5
7月末	11,362	△	0.2	97.2
8月末	11,383	△	0.1	113.2
9月末	11,634		2.1	99.8
10月末	10,538	△	7.5	100.0
11月末	10,855	△	4.7	100.0
12月末	9,890	△	13.2	100.0
(期 末)				
2019年1月31日	10,424	△	8.5	105.4

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2018年2月1日～2019年1月31日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、8.5%下落しました。

当期においては、秋期に起こった世界的な株式市場の下落により、ブラジル株と夏期にポジションを閉じた米国大型グロース株を例外としてほぼすべてのETFにおいてパフォーマンスがマイナスになりました。当ファンドは、為替ヘッジを行っていないため為替相場の変動が基準価額に反映されます。為替相場は円安米ドル高となったため、当ファンドの基準価額に若干プラスに寄与しました。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の株式市場の指数であるMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、7.8%の下落となりました。一方、米ドル円レートは0.2%の円安となりました。

世界株式市場は米国株式市場に大きく追随しましたが、米国株式市場は主に以下二点の影響を受けました。一点目は米国と諸外国の間の貿易摩擦であり、これは2018年2月に始まり年間を通して再発しました。特に影響が大きかった米中間の摩擦に加え、当期前半においては米国と欧州、カナダ、メキシコとの間にも貿易摩擦がありました。二点目は米国中央銀行制度（FED）が市場予想を超えるペースで利上げをし、今後の見通しについても予想より早いペースの金利上昇を示唆したことです。これら二つの影響により株式市場は2018年2月に急激に売られ、米国株が過大評価されていると考えられた2018年10月と12月にも再び下落しました。

加えて欧州株式市場はドイツの低成長やイギリスの欧州連合離脱（Brexit）に対する不透明感、イタリアの予算に対する不信により圧迫され、また新興国株式市場は夏にかけてトルコの通貨危機やアルゼンチンの債務危機、インドにおける短期間の金融危機、中国経済の減速に悩まされました。

しかし2019年1月にはFEDが比較的ハト派のスタンスをとったため株式市場は強く反発しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の株式へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の企業の成長性を享受し、投資信託財産を成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定していません。

○今後の運用方針

引き続き、低リスク・バリュー・モメンタムといったスマートベータの概念に基づくアルゴリズムを用いて主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の企業の成長性を享受することを目指します。定期的な評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年2月1日～2019年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 22 (22)	% 0.205 (0.205)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	1 (1)	0.005 (0.005)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (そ の 他)	2 (2)	0.015 (0.015)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	25	0.225	
期中の平均基準価額は、10,954円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年2月1日～2019年1月31日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	アメリカ		口		千米ドル
	INVESTOQQ TRUST SERIES 1	220	38	514	90
		(294)	(49)		
	ISHARES MSCI BRAZIL ETF	2,037	73	1,692	64
	ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	28,269	1,236	17,910	765
	ISHARES MSCI SOUTH KOREA ETF	2,570	177	2,555	179
	ISHARES MSCI GERMANY ETF	2,845	78	1,731	46
	ISHARES MSCI MEXICO ETF	9,893	424	5,979	251
	ISHARES CHINA LARGE-CAP ETF	1,681	69	1,298	52
	ISHARES MSCI TAIWAN ETF	16,227	582	15,736	538
国	ISHARES MSCI JAPAN ETF	40,542	2,259	26,100	1,420
	INVESTOQQ TRUST SERIES 1	1,896	318	2,087	359
				(294)	(49)
	VANGUARD FTSE EMERGING MARKE	423	17	423	16
	VANGUARD FTSE PACIFIC ETF	34,638	2,298	22,136	1,434
	VANGUARD FTSE EUROPE ETF	65,348	3,462	40,077	2,048
	VANGUARD MID-CAP VALUE ETF	29,085	3,102	19,373	2,048
	VANGUARD MID-CAP GROWTH ETF	10,697	1,422	8,008	1,044
	VANGUARD SMALL-CAP VALUE ETF	142	19	142	18
	VANGUARD VALUE ETF	26,058	2,748	17,830	1,879
WISDOMTREE INDIA EARNINGS	57,035	1,383	34,329	818	
小	計	329,606	19,716	217,920	13,078
		(294)	(49)	(294)	(49)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年2月1日～2019年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年2月1日～2019年1月31日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年1月31日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
ISHARES MSCI BRAZIL ETF	—	345	15	1,676	0.2	
ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	796	11,155	489	53,370	7.5	
ISHARES MSCI SOUTH KOREA ETF	357	372	24	2,641	0.4	
ISHARES MSCI GERMANY ETF	—	1,114	30	3,278	0.5	
ISHARES MSCI MEXICO ETF	19	3,933	175	19,117	2.7	
ISHARES CHINA LARGE-CAP ETF	—	383	16	1,776	0.3	
ISHARES MSCI TAIWAN ETF	—	491	16	1,752	0.2	
ISHARES MSCI JAPAN ETF	1,164	15,606	845	92,129	13.0	
INVESCO QQQ TRUST SERIES 1	485	—	—	—	—	
VANGUARD FTSE PACIFIC ETF	1,043	13,545	881	96,019	13.6	
VANGUARD FTSE EUROPE ETF	—	25,271	1,312	142,990	20.2	
VANGUARD MID-CAP VALUE ETF	860	10,572	1,099	119,754	16.9	
VANGUARD MID-CAP GROWTH ETF	620	3,309	437	47,628	6.7	
VANGUARD VALUE ETF	1,011	9,239	962	104,855	14.8	
WISDOMTREE INDIA EARNINGS	—	22,706	540	58,907	8.3	
合 計	口 数 ・ 金 額	6,355	118,041	6,845	745,898	
	銘柄 数 < 比 率 >	9	14	—	< 105.4% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2019年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	745,898	83.1
コール・ローン等、その他	151,917	16.9
投資信託財産総額	897,815	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（785,368千円）の投資信託財産総額（897,815千円）に対する比率は87.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.96円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年1月31日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	937,277,532	
コール・ローン等	112,316,617	
投資信託受益証券(評価額)	745,898,009	
未収入金	79,062,906	
(B) 負債	229,662,631	
未払金	39,461,796	
未払解約金	190,200,835	
(C) 純資産総額(A-B)	707,614,901	
元本	678,805,888	
次期繰越損益金	28,809,013	
(D) 受益権総口数	678,805,888口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,424円	

(注) 当ファンドの期首元本額は57,190,877円、期中追加設定元本額は4,615,376,070円、期中一部解約元本額は3,993,761,059円です。

(注) 2019年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・THEO グロース・A I ファンド（世界の株式中心） 517,637,361円
- ・THEO グロース・ファンド（世界の株式中心） 161,168,527円

(注) 1口当たり純資産額は1.0424円です。

○損益の状況（2018年2月1日～2019年1月31日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	8,921,548	
受取配当金	8,920,059	
受取利息	1,489	
(B) 有価証券売買損益	△ 56,962,972	
売買益	19,822,837	
売買損	△ 76,785,809	
(C) 保管費用等	△ 53,948	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 48,095,372	
(E) 前期繰越損益金	7,947,270	
(F) 追加信託差損益金	357,463,629	
(G) 解約差損益金	△288,506,514	
(H) 計(D+E+F+G)	28,809,013	
次期繰越損益金(H)	28,809,013	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。